

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第3部門第2区分

【発行日】平成18年7月13日(2006.7.13)

【公表番号】特表2002-516292(P2002-516292A)

【公表日】平成14年6月4日(2002.6.4)

【出願番号】特願2000-550512(P2000-550512)

【国際特許分類】

A 6 1 K 39/095 (2006.01)

A 6 1 K 9/127 (2006.01)

A 6 1 K 39/385 (2006.01)

A 6 1 K 39/39 (2006.01)

A 6 1 P 31/04 (2006.01)

A 6 1 P 37/04 (2006.01)

【F I】

A 6 1 K 39/095

A 6 1 K 9/127

A 6 1 K 39/385

A 6 1 K 39/39

A 6 1 P 31/04 1 7 1

A 6 1 P 37/04

【手続補正書】

【提出日】平成18年5月15日(2006.5.15)

【手続補正1】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】特許請求の範囲

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】 免疫原性組成物であって、(i) 第1のキャリアに結合体化される血清群C 髄膜炎菌オリゴ糖、および (i i) 血清群B 髄膜炎菌外膜タンパク質を含有し、ここで、(i) の該第1のキャリアは、(i i) の該血清群B 髄膜炎菌外膜タンパク質ではない、免疫原性組成物。

【請求項2】 前記第1のキャリアが、タンパク質、多糖、ポリ乳酸、ポリグリコール酸、ポリマーアミノ酸、アミノ酸コポリマー、脂質凝集物、および不活性なウイルス粒子からなる群より選択される、請求項1に記載の免疫原性組成物。

【請求項3】 前記第1のキャリアがタンパク質である、請求項2に記載の免疫原性組成物。

【請求項4】 前記第1のキャリアがCRM₁₉₇である、請求項3に記載の免疫原性組成物。

【請求項5】 前記血清群B 髄膜炎菌外膜タンパク質が、プロテオリポソーム小胞として存在する、請求項1に記載の免疫原性組成物。

【請求項6】 前記組成物により誘導される免疫応答が、成分(i) または成分(i i) 単独で誘導される免疫応答とは有意には異ならない、請求項1～5のいずれかに記載の免疫原性組成物。

【請求項7】 前記組成物がアジュバントを含有する、請求項1～6のいずれかに記載の免疫原性組成物。

【請求項8】 前記アジュバントが、水酸化アルミニウムまたはMF59である、請求項7に記載の免疫原性組成物。

【請求項 9】 医薬としての使用のための、請求項 1～8 のいずれかに記載の組成物

。

【請求項 10】 髄膜炎菌の血清群 B および C に対して個体をワクチン接種するための医薬の製造における、(i) 第 1 のキャリアに結合体化される血清群 C 髄膜炎菌オリゴ糖、および (i i) 血清群 B 髄膜炎菌外膜タンパク質の使用であって、(i) の該第 1 のキャリアは、(i i) の該血清群 B 髄膜炎菌外膜タンパク質ではない、使用。

【請求項 11】 請求項 1～8 のいずれか 1 項に記載の免疫原性組成物を含有する、ワクチン。